



窪町だより

窪町小学校令和3年度5月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/kubomachi-ps/>

「連休はどんなふうに過ごすつもりですか？」

副校長 時田 隆

新年度が始まって1か月。まだまだコロナウイルスの勢いはやまず、忍従の毎日が続いています。この文を書いているのは4月の下旬。もうすぐ5月の連休です。コロナ禍の中での連休、子どもたちはどのように過ごす予定なのか。知りたいと思い、何人かの子どもたちに直接聞いてみました。

「連休はどんなふうに過ごすつもりですか？」。

<高学年の部>

- 「塾の〇〇特別教室があるから、そこで勉強します。」(連休中、全部?)「いや、土日は行きません。」(じゃあ土日は?)「ううん…、塾の宿題かなあ。」
- 「塾へ行って勉強して、早く終わらせて遊びます。」(何して遊ぶの?)「ゲームかな、家の中で。」
- 3人に聞きました。「遊びます。外で。」(ここらへんだとどこで遊ぶの?)「3組は△△公園」、「2組は□□公園」、「4組は◆◆◆◆。」(クラスによって遊ぶ場所が違うの?)「そう。集まるところが違います。」
- 「筋トレします。」(え?キントレ?)「はい、筋トレします。」(キントレって何か器具を使うの?)「いや、ゲームです。ゲームで筋トレできるんです。」

<低学年の部>

- 「ううん…、家でダラダラすると思います…。」
- 「バレエの練習をします。」(アタックとか?)「ちがいます、踊る方です。」
- 「しばらく考えて」-「決まっています。」(そうかあ、じゃ勉強かな?)「いや、それはしません。」
- 「家で宿題します。それから勉強します。」(どちらも大変だね)「うん、でも勉強好きだから。」
- 「遊びます。」(どこで遊ぶの?)「家です。」(そうかあ、家で何するの?)「ゲームです。」
- 「そんな先のことがわからないです。」

聞いてみた印象では、高学年、特に6年生は習い事、勉強、という答えが多かったです。低学年はしばらく考えこむ子が多かったです。子どもそれぞれの予定、都合、事情があり、それぞれに有意義に過ごしてほしいと思いました。

さて、話はコロナに戻ります。大型連休に限らず、余暇の過ごし方がコロナウイルス感染の増減に大いにかかわります。しかし、長く続くマスク生活で、自分の心のどこかに隙ができていないか、これくらいならいいかという気持ちがあるのでは?と自戒しています。コロナ禍の中での生活スタイルを、休みの日に改めて考え直し、できることを楽しもうと考えています。

それにしても、こんなご時世だからでしょうか。低学年の子の言葉、「そんな先のことがわからないです。」という言葉に、意味深いものを感じました。これからどのような事態が降りかかってくるのか、先のことは分かりません。どのようなことになっても、人に優しく、そしてたくましく生きる力を子どもたちに身に付けさせたいと考えています。

音楽朝会について

(音楽主任 宝田 雄介)

通常、音楽朝会では、毎月全校児童が体育館に集まり「今月の歌」を歌います。全校の児童が、行事や季節の歌を歌うことで、学年を超えて一体感を味わい、豊かな情操を養う目的で行うのです。

昨年度は、残念ながら体育館に全校が集まって歌うことはできませんでした。そのため、電子黒板で全校一斉に、オーケストラの鑑賞をしたり、わらべうた遊びなどをして、楽しみました。今年度も感染症の状況を見ながら、音楽朝会でできる活動の可能性を探ってまいります。

これからも、音楽の力で児童の生活がより明るく、楽しくなることを願い、様々な工夫をして音楽朝会を計画していきます。

「学びの教室」について

(特別支援コーディネーター 渡邊 幸)

本校では、平成29年度から「学びの教室」(特別支援教室)を開設し、専門の教員による巡回指導を行っています。

児童一人一人の教育的ニーズを把握し、個々の力を高め、特性に合わせて生活や学習の困難を改善、克服するために必要な支援を行うことが「学びの教室」の主な目的です。特に、友達との接し方や集団行動など、生活の中で児童が困難に感じていることへの支援が中心となります。児童それぞれが力を伸ばし、自己の課題を克服していけるように、支援の充実を図っています。

校内研究について

(研究主任 和田 崇志)

本校では昨年度から研究教科を「特別の教科 道徳」に変更し、1年間研究を深めてきました。研究1年目の昨年は、子どもたちの実態把握や教師の授業力向上に重点を置き、授業研究や日々の授業改善に努めてきました。そして、今年度も昨年度の研究を継続する形で「特別の教科 道徳」の研究を進めていきます。昨年度以上に、子どもたちが、主体的に考え、話し合い、聴き合い、語り合うことができるような道徳の授業を実践していき、子どもたちが自己の生き方について考えていけるようにしていきたいと思っています。

また、2月には、教職員や保護者、地域の方々が、道徳授業の参観と意見交換会を通し、子どもの心の教育について理解を深めることをねらいとした「道徳地区公開講座」も実施し、今年度の研究内容をお伝えするとともに、貴重なご意見をいただけたらと思っています。大勢の参加をお待ちしております。

体育朝会について

(体育担当 工藤 輝)

本校では、「継続的に運動することを通して、正しい運動の仕方を身に付けたり楽しさを味わったりし、自ら体力づくりに取り組む態度を育て、体力の向上を図る」ことをねらいとして、木・金曜日、8時30分～40分に体育朝会を実施しています。

今年度は、1学期には「集団行動・体づくり運動」、2学期には、「長なわ・短なわ」、3学期には、「持久走・なわとび」を行う予定です。

1学期は、本校の課題になっている「柔軟性の向上」を高めるために、10分間の短い時間ですが、新型コロナウイルス感染防止に努めながらストレッチなどに取り組むたいと考えています。ぜひ、ご家庭でも話題にいただき、一緒に取り組んでいただけますと幸いです。

生活指導について

(生活指導主任 浜崎 秀教)

生活時程は土曜日のみ変更となりました。先日お配りした「生活時程表」をご確認ください。また、登校時刻が8時15分から8時10分に変更となりました。こちらも、「窪町スタンダード」をよくお読みいただき、それに則って過ごせるように、お家でもご確認いただければと思います。